

大類所長着任のあいさつ

地域の皆さんと力を合わせ
よりよい地域づくりを目指して

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所 所長 大類 正法



この度4月1日付けで、伊藤尚敬所長の後任として参りました大類正法と申します。この地方の勤務は初めてですが、梅・桃・桜が開花するこの時期に赴任できたことをうれしく思います。

さて、私たちの仕事は、東北地方整備局の「強く美しい東北」という事業展開のテーマにあるとおり、地域住民が安全に安心して快適な生活が送れるような環境を整備あるいは保全していく必要があります。

このためには、地域が培ってきた歴史・文化・風土等を地域の方々とどのように捉え、どのような形で後世に伝えていくかを考えた地域づくりが必要であります。また地域活性化の一翼を担うためには、自然に恵まれた阿武隈山地の環境を生かした観光資源の開発と保全等、将来を見据えた新しい取り組みも必要となるでしょう。

これらを進めるためには、我々の持っている情報を地域の方々に判り易く提供するとともに、地域との懇談会等を通じた意見聴取も大切なことではないでしょうか。

前任者は、三春ダム管理所の課題として

- ① 水源地域の活性化や、上下流連携に向けた水源地域ビジョンの策定。
- ② よりよい水環境形成のための水質浄化の検討。

- ③ 先進技術の発信基地としての研究とそのアピール。
- ④ ダム管理事業の透明性の確保と説明責任。
- ⑤ 開かれたダムとして、レクリエーションや環境学習基地としての整備促進と管理の充実。

の5項目をあげられております。

これらの課題から判るとおり我々の業務は多様化しております。これから皆さんと仕事をしていく上で第一に健康に留意していただき、「仕事（業務）のねらいは何かを早くつかむ」、「答えを導き出す過程に問題はないかをチェックする」、「結果を恐れず、自信を持って事を進める」のコンセプト・プロセス・評価を常に描きながら業務をされるようお願いしたいと思います。

また、職員のみならず管理所に働く皆さんや地域の皆さんとも力を合わせ、この地域の人々がより良い快適な暮らしができるよう努力していきたいと思っておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



シリーズ 「私のふるさと紹介」



私のふるさと湯沢市は、秋田県内陸南部に位置し、東は奥羽山脈、西は出羽丘陵に囲まれ、南北には雄物川が流れる田園地帯にあります。盆地で、しかも高い建物が無いので、遠くまで見渡せます。特に私の実家は田んぼの真ん中にあるので、火事があるとどこら辺かがすぐ分かりました。昔は秋田の玄関口といわれ、駅近くの店では、電車で到着したばかりの少年ジャンプがフライング気味に販売されてました。

湯沢市には3つの大きな祭りがあります。夏に行われる「七夕絵灯ろうまつり」では、笹や吹き流しと一緒に、美人画の描かれた人の背丈ほどの灯ろうが飾られます。冬の「犬っこまつり」では、雪でお堂を作り、その中に米の粉で作った小さな犬をまつります。盗賊退治の祈念が起源といわれていますが、なぜ盗賊に米の犬なのかは分かりません。お盆には「大名行列」が行われます。江戸時代の装束を着た600人が市内を練り歩きます。行列の長さは2kmになります。

地場産業では酒造が盛んで、市内にはたくさんの酒蔵があります。たずさわっている人も周りにたくさんいて、私の父、同級生の父親、従姉妹、隣の鈴木さんも酒造りに従事していました。

hotv 一息

採用一年が過ぎて

電気通信係 西村彰仁

この原稿の依頼がきた時、「えっ、もうそんな時期!？」と正直思いました。が、暦はもう三月でもう一年経ったんだなあと改めて感じました。

簡単にこの一年を振り返り自分を見つめ直したいと思います。

【春】国交省に入省。三春ダム管理所に配属される。入省式後すぐに研修へ行き、公務員のいろはを教わる。(ディスカッションばかりで正直疲れた)研修後、三春ダムへ。あまりの設備の多さに正直やっていけるのかと不安になる。管理所で5月を過ごしその後再び研修へ。今度は専門的な事がメインだったが自分の専門外の事ばかりでついていけなかった。(単なる勉強不足かな?)

【夏】台風6号、7号が襲来し夜通しダム管理に従事する。仕事ではあったが、ダムから放流するところを目の前で見ることが出来て感動した。

【秋田県・湯沢市】の巻 総務係 高階 公平

12年前の湯沢市には全国チェーンのファーストフード店がありませんでした。ビッグマックの発泡スチロールの容器は、私にとってちょっとした憧れでした。修学旅行先では、夕食後にも関わらず、念願の容器を手に入れるためハンバーガーを食べました。

夏は暑く、冬は寒い、四季のはっきりした緑豊かな町です。みなさんも是非一度訪れてみて下さい。



←犬っこまつり会場は祖母の家の近くにありました。

夏の風物詩
七夕絵灯ろうまつり→



【秋】三春の紅葉に囲まれながら色々な仕事に従事する。(覚えが悪くてなかなか大変)

【冬】三春はあまり雪が降らないと聞いていたが結構降ってビックリ。雪道をおそろおそろ運転し通勤する日々が続く。(運転の腕は多少上達したかも?でも仕事は相変わらず)

改めてこの一年を振り返ると、自分では無我夢中にやってきたつもりですが、全然成長していないのでは?と思います。管理所の皆さんには迷惑を掛けっぱなしで本当に申し訳なく思います。(特に電通係長すみません)今年度は勉強したことを糧に、自立して仕事を進めていける様に努力していきたいです。

今年度も引き続き色々のご迷惑をお掛けする事とは思いますが、三春ダム管理所の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

地球と共存できる社会を目指して

『産業』～大滝根川流域の林業～

第16回大滝根川流域勉強会が、林業をテーマに福島県県中農林事務所林業課の佐藤守氏を講師に迎え、3月13日（木）に開催されました。

佐藤氏からははじめに、生命誕生の40億年前からの森林の歴史と、人との関わりについて

- ・日本は国土の約7割が森林で、他国に比べて高い森林率を誇る
 - ・高度経済成長以降、林業は衰退している
 - ・現在「森林文化」「木の文化」を見つめ直し、適切に整備・保全しながら国産材を利用する体制を整備しなければならない状況にある
- などの話をして頂きました。

次に、森林の多面的機能と森林資源の現状についてのお話では、森林の機能を発揮するためには間伐や林道の整備をはじめ、地域のボランティアなどの連携も必要であるということでした。

最後に、県中農林事務所管内と田村地方の森林、林業についての現状については、参加者とのディスカッションも交えつつ

- ・田村地方には発展途上の森林が多い（良い木が多い）ということ
- ・コストも手間もかかるため、最近では間伐をしない山が多いということ

- ・条件はあるが、森林整備事業として自分の山を整備するのにも県から補助が出る
- ・これからは山づくりと共に、木材の利用についても考えていかなければならない

などのお話がありました。参加者からは、「45年を伐期（材木の伐採・収穫の時期）とするのはなぜか？」「伐採する際は、どの部分を測るのですか？」「緑のダム（森林）が整備されれば、三春ダムのようなコンクリートのダムはいらないのでしょうか？」「林業が衰退しているということですが、後継者問題はどのような状況ですか？」など様々な質問が出され、意見が交わされました。

三春ダムでは、流木をチップ化して公園などにまいてみよう、ということを実験を行っているところですよ。と矢倉技官→



大滝根川流域勉強会は、自分達の住む地域を知るための勉強会でもあります。地域内の皆さんをはじめ、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

次回は、4月17日（木）「大滝根川流域の養蚕業について」（予定）です。

人と自然、都市と地域の交流・共存を目指して

宮ヶ瀬ダム（神奈川県）を訪れて

三春ダムでは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図るとともに、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的とした『水源地域ビジョン』の策定を進めています。

そこで今回は、現在三春ダムと同時期にビジョンの策定を進めている宮ヶ瀬ダムのご紹介をしたいと思います。

宮ヶ瀬ダムは、東京・横浜から50km圏内の相模川水系中津川に位置する首都圏最大級の多目的ダムです。三春ダムと同じ重力式コンクリートダムで、首都圏からの日帰り圏内にある宮ヶ瀬湖は、年間約110万人の観光客で賑わいます。しかしその一方

で高齢化の進行や、地場産業の低迷などの問題も抱えており、同じ里ダムとして三春ダムと良く似た現状ともいえます。

宮ヶ瀬ダムでは、観光の振興や住民が自発的にとりくむための機会を提供するなど、ビジョンの実現に向けて様々な取り組みを行っています。

三春ダム管理所でも宮ヶ瀬ダムの目標・内容などを参考に、今後の水源地域ビジョンを進めていきたいと思っています。

ダム建設時は、コンクリートを運搬していた「宮ヶ瀬ダムインクライン」→



ミーちゃん&ハル君の
ちよつとからくち
三春ダム

アメリカでは400カ所以上のダムが撤去されているって聞くけど、もうダムは要らないってことなの？



三春ダムで
はたらく人

まずその質問に答える前に、アメリカのダム建設の現状について説明しよう。アメリカでは確かに建設のピークは越えているけれど、カリフォルニア州などの水が足りない地域では、1999年現在で42カ所も工事中なんだ。

でもたくさんのダムが
撤去されているのは事実だよ？



「ダム」といっても、撤去されているそのほとんどが日本では「堰」と呼んでいる高さ15m以下の施設なんだ。撤去の理由は、使用不能になっているものや、古くなって安全面で問題のあるもの、それに河川環境の改善などがあるようだね。

みんなはダムについてどんなことを知ってる？色んな質問を三春ダムの人にきいてみよう！



アメリカだけじゃないよ。日本でも農業用水の取水用の堰など、堰と呼んでいるものをさめて、老朽化や取水位置の変更などの理由で、326施設が撤去されているよ。



三春ダムは将来どうなっちゃうんだろう？

三春ダムはまだ出来て6年ぐらだから、老朽化などによる安全面の問題はないよ。今は洪水や濁水を防ぐこのダムを、どうやって長持ちさせて末永く地域に役立たせていくか、ということが一番大切だと考えて毎日ダムの管理をしているんだ。



よかったぁ！三春ダムがなくなるんじゃないかと思ってビックリしたよ。またよろしくお願ひしまーす。

資料館からのお知らせ



四月一日(火)から五月五日(祝)まで、春の物産展を開催中です。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄り下さい。

3月のダム見学

3月20日(金) 三春ロータリークラブ 20名
3月26日(水) 茨城県牛久市役所 20名



見学のお問い合わせなど、お気軽にご連絡下さい。

自然観察ステーションからのお知らせ

4月19日(土)、25日(金)

土星・木星を見てみよう！(星を見る会)

4月20日(日) 桜と春の植物観察会

“春本番！桜も満開？”

4月27日(日) お城山で野鳥観察会

“早起きして野鳥たちを観察しよう”

三春町の鳥 ウグイス→



お申込みは三春町自然観察ステーションまで

電話(0247-61-1546)

編集後記

今年の冬は寒いなぁと思いつつ、気がつけばもうさくらの咲く時期です。新年度となり、さくら湖管理ニュースの発案者であるI所長をはじめ、管理係のT係長、機材担当Oさん、若手編集委員Y君が管理所を去りました。新たなメンバーでの平成15年度のさくら湖管理ニュースですが、ますます皆様に親しんで頂けるよう管理所職員一同がんばってまいりますので、よろしくお願ひします。(佐々木)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字

西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>